

日の出町には自然がいっぱい。川遊びや釣りや夢中になったあとは、森林浴を満喫できる温泉や、山荘の由緒あるお抹茶を楽しみましょう。

手ぶらでバーベキュー さかな園

小さなお子様もいっしょに楽しめるニジマスつかみ取りや、道具や食材がそろった屋根付きバーベキュー場でのアウトドア体験ができます。



お問い合わせ さかな園(日の出町大久野3882)
☎042-597-4911 ※火曜日定休
http://www.hinode-k.jp/

森林浴と天然温泉 つるつる温泉

さかな園から2キロ程奥にあるつるつる温泉は、多摩の大自然に抱かれた天然温泉。JR武蔵五日市駅から温泉間を結ぶ機関車型バス(有料)も運行中です。

割引特典 平成24年3月28日～4月27日まで本紙持参で入館料お一人様100円引き(大人800円▶700円、小学生400円▶300円) ※3時間限定。1グループ3名様まで。他の割引券との併用不可。

お問い合わせ つるつる温泉(日の出町大久野4718)
☎042-597-1126 ※火曜日定休
http://www.gws.ne.jp/home/onsen/

お抹茶でゆったり 日の出山荘

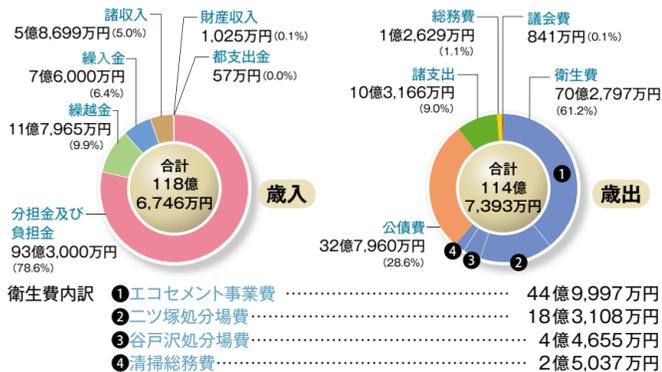
ここでいただけるのは、中曾根元首相がレーガン元大統領をもてなした由緒あるお抹茶。当時の興味深い逸話を聞くこともできます。

料金 抹茶席300円～(別途入館料が必要です)
お問い合わせ 日の出山荘(日の出町大久野5270)
☎042-597-7323 ※月・火曜日定休
http://www.town.hinode.tokyo.jp/



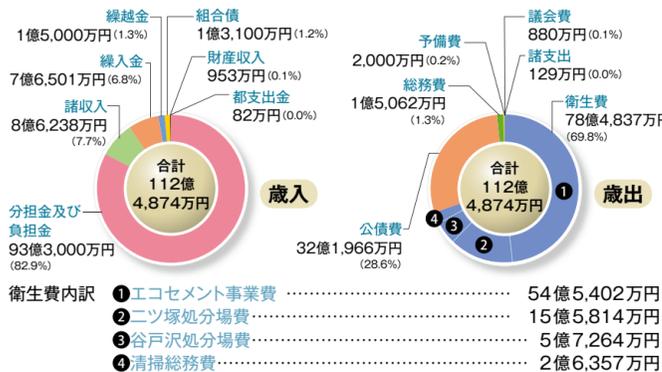
平成22年度決算の報告

決算額は、歳入が118億6,746万円(前年度比3.4%増)、歳出が114億7,393万円(前年度比11.4%増)となりました。
平成22年度は、エコセメント化施設で使用する燃料費と修繕用大型部品製作費が増加したものの、焼却灰搬入量の減少によりエコセメント事業費は微増にとどめることができました。エコセメント事業費は歳出決算額の約4割を占めていますが、処分場への埋立が大幅に減少し、処分場の延命化に大きく貢献しています。



平成24年度予算の報告

平成24年度予算の骨子は、前年度に引き続きニツ塚・谷戸沢両処分場の安全かつ適正な維持管理を実施するとともに、エコセメント事業を推進する予算となっています。歳入では、組織団体からの負担金が4年連続で93億3千万円で全体の82.9%、歳出ではエコセメント事業費が54億5千万円で全体の48.5%となっています。



エコセメント化施設操業差止請求訴訟の第一審判決で組合勝訴

平成23年12月26日、東京地方裁判所立川支部は、組合が管理運営するエコセメント化施設の操業差止を求めた訴訟について、人格権の侵害や生活利益の侵害は認められないとして、原告側の請求を棄却する判決を下しました。これにより、組合が主張してきましたエコセメント化施設の安全性が司法の場で確認されました。

組合では今後も最終処分場やエコセメント化施設の安全な管理・運営を図るとともに、環境にもより一層配慮しながら事業を進めてまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

循環組合の動き

平成23年
10月3日(月) 平成23年第4回正副管理者会議
10月21日(金) 平成23年第3回理事会
10月28日(金) 平成23年第2回議会定例会
12月9日(金) 第26回循環組合技術委員会
12月15日(木) 第30回環境保全調査委員会
12月20日(火) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
12月21日(水) 第22自治会ニツ塚処分場対策委員会
平成24年
1月11日(水) 環境データ公表(上半期分)
1月25日(水) 平成24年第1回理事会
2月1日(水) 平成24年第1回正副管理者会議
2月15日(水) 平成24年第2回理事会
2月23日(木) 平成24年第1回議会定例会
2月23日(木) 平成24年第2回正副管理者会議

正副管理者の就任

平成24年1月25日 副管理者就任 並木 心 羽村市長
平成24年1月29日 管理者就任 竹内俊夫 青梅市長

議会の報告

循環組合の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。

平成23年第2回循環組合議会定例会(平成23年10月28日開催)		
番号	件名	議決結果
議案第6号	平成22年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第7号	平成23年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号)	可決
平成24年第1回循環組合議会定例会(平成24年2月23日開催)		
番号	件名	議決結果
議案第1号	専決処分(東京たま広域資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
議案第2号	東京たま広域資源循環組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	東京たま広域資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第4号	平成24年度東京たま広域資源循環組合一般会計について	可決
議案第5号	平成24年度東京たま広域資源循環組合一般会計予算	可決

東京たま広域資源循環組合
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
循環組合組織団体 循環組合は組織団体からの負担金で運営されています
八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

【たまエコニュース】の内容やごみ処理に関するお考えなど、皆さまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合【たまエコニュース】係
【メールアドレス】sjkumiai@tama-junkankumiai.com

http://www.tama-junkankumiai.com/

たまエコ

2012 3月 Vol.56

●多摩400万人のごみ情報誌 地域とともに 自然とともに ニュース

発行:東京たま広域資源循環組合
【事務局】〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL.042-385-5947 FAX.042-384-8449
http://www.tama-junkankumiai.com/

処分場に対する理解をもっと深めてほしい

処分場に歴史あり 「三多摩は一つなり」の思い

対談

ごみを出す側と受け入れる側。このたび、互いの理解をよりいっそう深めるため、日の出町長と当組合管理者による対談を行いました。

西多摩郡 日の出町長
橋本聖二

東京たま広域資源循環組合 管理者(青梅市長)
竹内俊夫

受け入れに至る思いを風化させず引き継いでいきたい

管理者 多摩地域のごみの最終処分場を受け入れていただき、多摩住民400万人が支障なく日常生活を送ることができることに、心から感謝申し上げます。

町長 処分場受け入れにあたっては非常に長い歴史がありますが、当時の町長が「三多摩は一つなり」という方針を打ち出し、地元自治会の理解を得て引き受けたのが始まりです。全国どこでもごみ処理場は好まれる施設ではないため、町民の理解を得るために非常に苦労してきました。それから、ごみの受け入れに反対する運動もあり、毎日がごみの戦争のようなときもありましたよ。

徹底した安全確保と埋立後の自然回復

管理者 当時大変な思いで受け入れていただいたというその「思い」を風化させることなく引き継いでいきたいです。現在搬入しているニツ塚処分場では、地元自治会・対策委員会の方に立ち会っていただくなどご協力いただいております。また、最高裁で「谷戸沢、ニツ塚とも周辺環境に影響を及ぼしていない」という決定が出ましたし、東京地裁でもエコセメント化施設の安全性も認められました。

町長 ニツ塚処分場については不燃物の埋立が大幅に減り、処分場の延命化が図られていることは、町としても評価しています。エコセメント化施設についても、特段の問題もなく稼働していて、今のところ環境面での心配はしていません。
管理者 埋立が終わった谷戸沢処分場では、

地元自治会・監視委員会の皆さんのご協力も得て自然回復に取り組んできた結果、多くの生き物が生息・生育するようになりました。昨年7月には地元自治会の方をお招きし、国蝶オオムラサキの放蝶会を実施しました。オオムラサキは谷戸沢処分場のシンボルとして、今後も育成に努めていきたいですね。

町長 谷戸沢処分場(昭和59年から平成10年まで埋立)は埋立開始から27年たちますが、これまでのところ問題がなく、今は町民グラウンドとしても利用させていただいています。谷戸沢処分場についても、地元自治会とのコミュニケーションを大切にしつつ、これからも管理を適正にお願いします。現在あまり見られなくなったナンバギセルや滅多にない貴重なキンランの花が咲いたり、オオムラサキが繁殖していることなどは非常にうれしいことです。谷戸沢処分場は、来年東京で行われる国体で利用するサッカー場として整備していきます。その中で、多摩あるいは区部も含めた人たちに、サッカー場として利用し



ていただきたいと考えております。また、跡地利用に関しては、処分場設置時の日の出町の「スポーツと文化の森設置構想」へ協力したいという基本的条件を尊重してほしいと思います。
管理者 サッカー場が、町内だけでなく、広い地域から利用されるようになると大変素晴らしいことだと思います。

ごみを出す側と受け入れる側の相互理解を

町長 組織団体の方には、ごみ行政の原点に戻っていただくとともに、多摩住民の方々には、処分場を実際に見ていただいて、出したごみなどのように処分されるのか、理解を深めていただきたいと思います。

管理者 たとえば、谷戸沢処分場の自然回復状況をより広く体験してもらうため、来年度からは見学会をより充実させたいと考えています。また、ごみを出す側と処分場を受け入れていただく側の相互理解を深めるため、「三多摩は一つなり交流事業」も多摩地域の住民の方に日の出町に来ていただけるように組織団体の協力を得て充実させたいと思います。引き続き処分場の安全な管理・運営に努めていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

次のページでは、処分場の自然や生き物たちを紹介しています



【循環組合】とは…

ニツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみならず、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用しています。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさんと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

http://www.tama-junkankumiai.com/



適切な管理により、豊かな環境をまもります

埋立を終えた谷戸沢処分場では、徹底した維持管理により、以前よりも多くの生き物が暮らすようになりました。

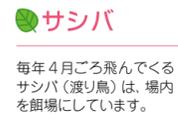


カヤネズミ
絶滅危惧II類に登録されているカヤネズミを、再生したススキ原で発見しました!!

多くの生き物が生息する水辺
敷地内に清流復活用貯水池といった新たな水辺環境をつくった結果、水辺を好む鳥類やトンボ類が増えました。場内の設置したビオトープ*では、さまざまな動植物を観察することができます。
*ビオトープ：生き物が生息する空間のこと。人工的に再現され、自然と触れ合う場として活用される。



フデリンドウ
春に咲く種類のリンドウで、日当たりの良い場所で花を咲かせます。



サシバ
毎年4月ごろ飛んでくるサシバ(渡り鳥)は、場内を餌場にしています。



キンラン
初夏の林の中で、黄色の可憐な花を咲かせます。

良好な環境を維持し、多様な生物がすむ場所に



ナンバンギセル
秋に花開くナンバンギセルは、ススキなどの根に寄生する植物です。



ムササビ
フクロウ用に設置した巣箱からかわいい顔をのぞかせていました。



キセキレイ
水辺に棲むキセキレイは、水辺や岩陰に潜む昆虫類やカメ類を餌にしています。

埋立後の草原に育った約700種類もの植物
埋立終了後、廃棄物を厚さ1メートル以上の土壌で覆った結果、埋立区域は広大な草原になりました。今では、武蔵野の面影を残すススキの群生など、約700種類もの植物が確認され、動物たちの住処になっています。



ゲンジボタル
初夏の風物詩としても人気のゲンジボタルは、処分場の下流に生息しています。

繁殖・生態調査を行っています
谷戸沢処分場を建設する際には、希少な生き物、トウキョウサンショウウオに与える影響をできるだけ少なくするため、産卵のための池をつくるなどの保護を行いました。その結果、平成22年には前年の比で、産卵数が倍増していることが確認されました。



トウキョウサンショウウオの卵のう



タヌキ
種子散布者としての役割を果たすタヌキは、処分場や周辺の森林のなかを活発に移動します。



ホンドキツネ
12月から2月にかけて繁殖期を迎えるホンドキツネも場内で確認されました。

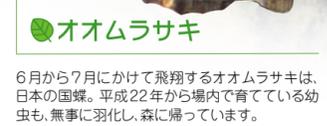


コガモ
調整池を群れになって泳ぐコガモは、冬鳥として毎年飛来してきます。

夏 Summer



ショウジョウトンボ
全身が真っ赤なトンボ。場内をパトロールするように飛ぶ姿が見られます。



オオムラサキ
6月から7月にかけて飛翔するオオムラサキは、日本の国蝶。平成22年から場内で育てている幼虫も、無事に羽化し、森に帰っています。

冬 Winter

放射線物質測定を毎月行っています

循環組合では、放射性物質汚染対処特措法および日の出町と締結した特別協定に基づき、エコセメント化施設における放射性物質濃度の測定(月1回)とニツ塚処分場の敷地境界における空間放射線量の測定(週1回)を行っています。1月の測定結果は表のとおりです。

ニツ塚処分場			
空間放射線量	最小値	平均値	最大値
入場ゲート前	0.10	0.11	0.12
管理センター東	0.09	0.09	0.10
第1-1区画堤南側外周道路	0.09	0.10	0.10
防災調整池近傍	0.08	0.09	0.09
馬引沢峠近傍	0.08	0.09	0.09

エコセメント化施設	
放射性セシウム濃度(セシウム134と137の合計)	単位:µSv/時
乾燥機等排ガス	不検出 Bq/m ³
焼成炉排ガス	不検出 Bq/m ³
金属回収汚泥	45 Bq/kg
下水道放流水	231 Bq/L
エコセメント(製品)	不検出 Bq/kg

組織団体15清掃工場			
放射性セシウム濃度(セシウム134と137の合計)	最小値	平均値	最大値
主灰	65	107	186
飛灰固化物	133	852	2,890
飛灰	310	469	770

測定結果は毎月ホームページでも公開しています。

環境調査を行い安全性を確認

可燃ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント化施設」、不燃ごみを埋め立てているニツ塚処分場、埋立を終えた谷戸沢処分場では定期的に水質や大気などの環境調査を行っています。

これらの環境調査は、日の出町および地元自治会と締結した公害防止協定に基づき実施しているもので、各調査は日の出町の方々の立会いのもとに行っています。平成23年度の上半期の調査では、いずれも基準値や自己規制値を下回り、エコセメント化施設や処分場の埋立事業による周辺環境への影響はないことが確認されました。調査結果はホームページでも公開しています。

調査項目(単位)	調査結果			自己規制値	法規制基準値	
	焼成炉	乾燥機等	不検出		焼成炉	乾燥機等
窒素酸化物(ppm)	10~19	16~19	不検出	50	250	414
硫酸酸化物(ppm)	不検出	不検出	不検出	10	2158	9635
塩化水素(ppm)	不検出	不検出	不検出	10	430	—
ばいじん(g/m ³)	0.005~0.006	不検出~0.004	不検出	0.01	0.04	0.35
水銀(mg/m ³)	不検出~0.017	不検出~0.022	不検出	0.05	—	—
ダイオキシン類(ng-TEQ/m ³)	0.0000015~0.0000021	0.0000024~0.0000027	不検出	0.05	0.1	—

調査項目(単位)	谷戸沢処分場		ニツ塚処分場		基準値
	上流	下流	上流	下流	
カドミウム	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01
鉛	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01
ひ素	0.002	不検出	0.002	不検出~0.002	0.01
総水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005
トリクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.03
テトラクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01

※単位はmg/L

ニツ塚処分場にポット苗を植樹しました

ニツ塚処分場では、豊かな自然環境を創り出すため、処分場内の緑地をスギやヒノキの林から、広葉樹も茂る多種混交林への転換を進めています。その一環として、小学生が地元産のドングリなどを苗として育て、処分場内の緑地に植え付けるポット苗育成・植樹を行っています。

2月22日、国分寺市立第八小学校の6年生60名がニツ塚処分場で植樹を行いました。児童たちは、自分たちが2年間かけて育てたポット苗を大切に植樹していました。



「みんなで育てた苗が、立派な木になりますように」児童たちが思いを込めて植樹しました。